

事務事業チェックシート

事務事業No 476 事業名 第二阪和国道整備促進事業（和歌山岬道路）

[長期総合計画]

分野別目標	4	誰もが安心して住み続けられる持続可能なまち
政策	2	都市機能や市民生活を支える道路網の整備
施策	1	基幹道路網の整備
取組方針	2	広域幹線道路の整備促進

事業種別	継続		
事業期間	～		
事業実施の根拠法令			
関連個別計画			
担当課・担当課長・Tel	街路建設課	中村 嘉宏	435-1077
関連課			

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計	一般会計		
	款	土木費		
	項	都市計画道路費		
	目	第二阪和国道建設事業費		
	大事業	第二阪和国道建設事業		
中事業	第二阪和国道（和歌山岬道路）整備促進事業			

1 事業内容

事業目的	「誰・何」をどのような状態にするための事業か 第二阪和国道について整備を促進する。		全体事業概要 ・(県)第二阪和国道延伸促進期同盟会に対し負担金を支払う。 ・和歌山県や岬町と連携を図りながら、国土交通省に対し要望活動を行い第二阪和国道の整備を促進する。			
	事業内容	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
第二阪和国道建設促進議員連盟・延伸促進期同盟会に交付金を支払い、要望活動等に係る事務を行う。和歌山市域の供用に伴う開通式典や開通記念イベントを開催する。		第二阪和国道建設促進議員連盟に交付金を支払い、要望活動等に係る事務を行う。全線供用に伴う開通式典や開通記念イベントを開催する。	第二阪和国道建設促進和歌山市議会議員連盟に対し交付金を交付する。また、(県)第二阪和国道延伸促進期同盟会及び和歌山市・岬町第二阪和国道延伸連絡協議会に対し負担金を支払う。和歌山県や岬町と連携を図りながら、国土交通省に対し要望活動を行い第二阪和国道の整備を促進する。	(県)第二阪和国道延伸促進期同盟会に対し負担金を支払う。和歌山県や岬町と連携を図りながら、国土交通省に対し要望活動を行い第二阪和国道の整備を促進する。	(県)第二阪和国道延伸促進期同盟会に対し負担金を支払う。和歌山県や岬町と連携を図りながら、国土交通省に対し要望活動を行い第二阪和国道の整備を促進する。	

2 事業コスト

事業費等(千円)	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	3,263	2,714	2,902	2,085	985	502	435		435	
伸び率(%)	-	-	▲11.1%	▲23.2%	▲66.1%	▲75.9%	▲55.8%	▲100.0%	0.0%	-
人件費	10,526	10,801	10,801	10,428	9,664	8,314	7,482			
正規職員	10,526	10,801	10,801	10,428	9,664	8,314	7,482			
正規職員以外	0	0	0	0	0	0				
小計	10,526	10,801	10,801	10,428	9,664	8,314	7,482			
国庫支出金	0	0	0	0	0	0				
県支出金	0	0	0	0	0	0				
市債	0	0	0	0	0	0				
その他	0	0	0	0	0	56				
一般財源(税等)	3,263	2,714	2,902	2,085	985	446	435		435	
所要人数(人)	1.39	1.45	1.45	1.31	1.22	1.04	0.94			
正規職員	1.39	1.45	1.45	1.31	1.22	1.04	0.94			
正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0	0			
主な予算内訳										

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
			目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値	達成度(%)
成果指標	要望活動回数	回	6	7	116.7%	2	0	0.0%
		回	2	2	100.0%	2	0	0.0%
		回	2	0	0.0%	2	0	0.0%
活動指標	第二阪和国道による走行距離	k m	4.6	4	87.0%	4.6	4.6	100.0%
		k m	4.6	4.6	100.0%	4.6	4.6	100.0%
		k m	4.6	4.6	100.0%	4.6	4.6	100.0%

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか	○	急いで取り組む		中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	順調に事務を執行した。
見直し・改善内容	なし